

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名	児童デイサービスセンター療育機能強化事業 (緊急雇用創出推進事業)
-------------------	-------	--

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障害者福祉の確立
小分類	2	障害者(児)の自立促進
主要な施策	4	保健・医療・療育体制の整備
事務事業番号	005	事務事業コード 13324005 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	児童デイサービス療育機能強化事業
------	------	------------	------------------

部 名	保健福祉部	グループ名	障害福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p>(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)</p> <p>児童デイサービスセンターのぞみ園の通園児に係る療育指導</p>
手段 (事業の内容・活動)	<p>(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)</p> <p>児童デイサービスセンターのぞみ園は、近年、個別指導や小集団指導の通園児が増加傾向にあり、個別指導に使用する部屋を増加させた。 これに伴い、緊急雇用創出事業を活用し保育士を雇用し療育を強化することで、通園児の療育機会の拡大を図った。</p>
目指す姿 (成果)	<p>(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)</p> <p>のぞみ園に通園する障がい児に対し、基本動作の指導や集団生活への適応訓練などの療育強化ができた。</p>
根拠法令等	<p>(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	雇用人数	人	目標値	2				
			実績値	2				
	雇用日数	日	目標値	262				
			実績値	221				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 緊急雇用創出推進事業補助金	千円	2,045					0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1					0
合 計				2,046	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	0	0			
			嘱 託 員	千円	9	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		9	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？
今後も各種補助制度等を活用するなどして、 療育強化する必要がある。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？
指導室の増加に伴う、指導強化が図られた。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
短期雇用では向上は見込めない。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？
保育士の人件費となるので削減できない。			

担当グループによる評価

終了	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	平成21年度緊急雇用創出推進事業費補助金を活用した事業のため
----	----------------------------------	--------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）